

1. 申請者情報

Table with applicant information including prefecture (宮城県), municipality (三股町), and application status (継続・変更, 継続).

2. 交付対象事業の名称等

Table detailing the project name (交付対象事業の名称), main categories (主となる事業分野), and implementation periods (実施期間).

入力必須 (実施事業のみ)

Summary table with columns for No., prefecture, municipality, and various budget/fee categories (【ソフト事業】対象事業経費, etc.).

3. 交付対象事業の背景・概要

Main content area with three sections: A. 地方創生として目指す将来像, B. 地方創生の実現における構造的な課題, C. 交付対象事業の概要. Includes detailed text about population trends and project goals.

4. 優先採択テーマへの該当

優先採択テーマへの申請の有無	-
----------------	---

5. 他の政策・施策に基づく取組と連携する事業における弾力措置の対象となる事業

連携する取組		所管省庁への 事前相談
主務大臣による認定を受けた政策・施策間連携に関する事業計画の名称		
地域未来投資促進法の「基本計画」に明記される事業のうち、個別事業者への支援が含まれる場合のみ記載	基本計画に適合するとして承認された 地域経済牽引事業計画の名称	
	主務大臣の承認を得られた 連携支援計画の名称	
地域未来投資促進法の「基本計画」に明記される事業のうち、設備投資等の支援を行う場合のみ経済波及効果を記載		

6. 他の国庫補助金等の対象事業の除外

(1)	ソフト事業及び拠点整備事業において、他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費を除外しているか。	○
(2)	ソフト事業及び拠点整備事業において、従前から一般財源により実施されている事業経費や経常的な経費等の財源振替、地方公共団体が実施する福祉事業等、本来一般財源で措置すべき経費を除外しているか。	○
(3)	ソフト事業及び拠点整備事業において、提案、企画・立案に関するコンサルティング経費を除外しているか。	○

7. 交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI)

KPI① (事業・施策の全体効果を示す必須KPIを設定すること)	年間社会動態増減数	単位	人									
KPI②	交流拠点施設周辺の歩行者通行者数	単位	人/12時間									
KPI③	町公式LINE登録者数	単位	人									
KPI④		単位										
KPI⑤		単位										
KPI⑥		単位										
設定したKPIが複数年にわたって費用対効果を生み出すのに適している理由・計測手法・目標値の根拠	<p>KPI① 【適している理由】 本事業は、町での暮らしの魅力を高めることを目的としている。魅力を高め絶対的な魅力を創出することで、生活拠点先の選択として本町を選んでもらい、転出者の減及び転入者の増に繋げることを目指していることから、当該指標を設定した。 【計測手法】 6月1日から翌年5月1日の期間における毎月の転出者数と転入者数(人口動態調査)の差引合計数により計測する。 【目標値の根拠】 令和5年6月1日から令和6年5月1日までの転出者数と転入者数の差引合計数が「転出増(△86人)に転じた。令和元年度に「三股町交流拠点施設整備事業 基本構想」を策定したが、策定後の令和2年6月1日から令和6年5月1日までの転出者数と転入者数の差引合計数が45人の増であったことから、この水準に戻すことを目指す。</p> <p>KPI② 【適している理由】 昼夜間人口比率が低く、拠点施設予定地を含む中心地ゾーン地区において、朝夕の通勤通学時間以外で、歩行者の通行はほとんど見受けられない。拠点施設を中心とした各種参加型まちづくり事業を日常的に実施することで、出会いの場を創出し人のつながりを広げることを目指していることから、当該指標を設定した。 【計測手法】 施設内外に定点カメラ等を設置するなど、AI技術等を取り入れ計測する。 【目標値の根拠】 平日の日中における拠点施設を利用する対象者として、高齢者等が想定される。65歳以上の老年人口比率が令和2年国勢調査において約28.4%となっている。これらの人々の誘導を想定し約30%の目標値を設定した。</p> <p>KPI③ 【適している理由】 本町では、令和6年度から町公式LINEの機能を充実させ積極的な活用による情報発信に注力している。本事業の情報発信についてもLINEを通じた定期的な実施を予定しており、周知の度合等を図るうえで有益であるとの判断により、当該指標を設定した。 【計測手法】 1年間の登録者数を算出し計測する。 【目標値の根拠】 令和7年度中に「第6次三股長総合計画 後期計画」及び「第3期 三股町総合戦略」を策定予定としており、これらの計画の中でもKPI指標の一つとして設定する予定としている。</p>											
	事業開始前時点	2025年度増加分	2026年度増加分	2027年度増加分	2028年度増加分	2029年度増加分	2030年度増加分	2031年度増加分	2032年度増加分	2033年度増加分	2034年度増加分	KPI増加分の累計
KPI①	計画	△31人(2024年6月1日～2025年5月1日)	3.00	3.00	5.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00		46.00
	実績 ※見込みは下線	△31人(2024年6月1日～2025年5月1日)	<u>3.00</u>	<u>3.00</u>	<u>5.00</u>	<u>7.00</u>	<u>7.00</u>	<u>7.00</u>	<u>7.00</u>	<u>7.00</u>		46.00
KPI②	計画	152人/12時間(休日)(2022年度)	3.00	3.00	5.00	5.00	7.00	7.00	8.00	8.00		46.00
	実績 ※見込みは下線	152人/12時間(休日)(2022年度)	<u>3.00</u>	<u>3.00</u>	<u>5.00</u>	<u>5.00</u>	<u>7.00</u>	<u>7.00</u>	<u>8.00</u>	<u>8.00</u>		46.00
KPI③	計画	1,560人(2023年度)	300.00	330.00	380.00	450.00	500.00	500.00	520.00	520.00		3,500.00
	実績 ※見込みは下線	1,560人(2023年度)	<u>300.00</u>	<u>330.00</u>	<u>380.00</u>	<u>450.00</u>	<u>500.00</u>	<u>500.00</u>	<u>520.00</u>	<u>520.00</u>		3,500.00
KPI④	計画											0.00
	実績 ※見込みは下線											0.00
KPI⑤	計画											0.00
	実績 ※見込みは下線											0.00
KPI⑥	計画											0.00
	実績 ※見込みは下線											0.00
<p>KPIの実績等、事業の進捗や効果検証を踏まえた事業の見直し内容及び、考え方(事業・経費に係る地域の多様な主体の参画による評価の内容を踏まえた事業見直しについて記載すること。)</p> <p>※ソフト事業の計画期間を延長する場合は、事業期間の延長について、地域の多様な主体の参画による評価の内容を踏まえたものであり、当該評価の内容を踏まえた事業の見直しが行われていることを記載すること。また、当初の事業計画期間のKPIの目標値を1つ以上達成(見込みも可)していることを記載すること。</p> <p>優先交渉権者選定以降の、町と合同会社、DBO事業者の三者合意を図るための契約交渉について、当初は2カ月程度を見込んでスケジュールを組んでいたが、三セクとDBO事業者との連携の枠組みは本町独自のものであり、将来のリスク分担に関する疑義や不安の解消について想定以上の時間を要した。</p> <p>今回のDBO事業者は、大手資本が代表に立ったグループではなく、地元事業者が代表を務めるローカルなグループである。強力な統率力が働いている訳ではなく、DBO事業者内でも様々な意見があり、それによって全体の合意形成のハードルが非常に高くなった側面がある。しかしながら、地域密着型官民連携を目指してきた本事業においては、このハードルを越えることこそが大きな目標でもある。コンセンサスを得るプロセスに多くの関係者を巻き込み、共同事業の困難さを経験するなかで、簡単ではないからこそ湧きあがるチャレンジ精神が次第に共感性を呼び起こし、結果としてDBO事業者内に強いコミュニティ意識が醸成された。</p> <p>契約交渉に思わぬ時間を費やしたものの、より強固な共同体となるための下地が整ったと捉えることができる。今後、DBO事業者からの企画提案書をもとに、当事者だけでなく大学の教授等で構成される有識者会議や町民等を交えながら、多角的な視点による協議を踏まえた企画提案内容のブラッシュアップを行い、その結果を設計に反映し事業目的及びKPIの達成へ向け事業を進めていくこととする。</p>												

8. 自立性

自主財源の種類		自主財源の内容						
【A】	一般財源	町の一般財源						
【B】	地方債	公共事業等債						
【C】	基金	交流拠点施設整備基金						
【D】								
【E】								
各年度における自主財源見込額		事業開始前 (現時点)	2025年度(1年目)	2026年度(2年目)	2027年度(3年目)	2028年度(4年目)	2029年度(5年目)	2030年度(6年目)
【A】	計画		930千円	7,092千円	4,266千円	24,119千円	24,119千円	24,119千円
	実績 ※見込は下線		930千円	7,092千円	4,266千円	24,119千円	24,119千円	24,119千円
【B】	計画		7,700千円	143,700千円	721,400千円			
	実績 ※見込は下線		7,700千円	143,700千円	721,400千円			
【C】	計画		871千円	16,000千円	80,000千円			
	実績 ※見込は下線		871千円	16,000千円	80,000千円			
【D】	計画							
	実績 ※見込は下線							
【E】	計画							
	実績 ※見込は下線							
合計	計画	0千円	9,501千円	166,792千円	805,666千円	24,119千円	24,119千円	24,119千円
	実績 ※見込は下線	0千円	9,501千円	166,792千円	805,666千円	24,119千円	24,119千円	24,119千円
交付対象事業経費			19,002千円	333,585千円	1,611,333千円	0千円	0千円	
うちソフト事業費			1,859千円	14,061千円	8,000千円	0千円	0千円	
うち拠点整備事業費			17,143千円	319,524千円	1,603,333千円	0千円	0千円	
総事業費		0千円	19,002千円	333,585千円	1,611,333千円	24,119千円	24,119千円	24,119千円
自主財源見込額の計画が未達成であった場合、その理由								
未達成の理由を踏まえた見直し内容及び考え方								

9. 地域の多様な主体の参画

地方公共団体名							
分類	産	学	金	住民全般			
宮崎県三股町	主体名	まち会社 設計施工共同企業体 指定管理者	南九州大学 都城工業高等専門学校 宮崎産業経営大学 宮崎大学	町内金融機関	みまたんのみらいカイギ		
	主な役割、意見及び改善方策への反映	【役割】当該事業で整備を行う交流拠点施設に関し、整備から運営まで一貫して主体的に参画する。 【意見・改善方策】随時、関係する事業者間の協議会等により情報共有を綿密に実施し、町への報告を含め事業のブラッシュアップに取組んでもらい、事業効果の向上に町と協働により取組んでもらう。	【役割】当該事業の実施に関する助言及び提言等を行う。 【意見・改善方策】本事業実施にかかる募集手続きにおいて実施する審査会での委員のほか、それぞれの知見に基づき本事業における目的実現に向けた支援をいただく。	【役割】当該事業の実施に関する助言及び提言等を行う。 【意見・改善方策】本事業実施にかかる募集手続きにおいて実施する審査会での委員のほか、経営的観点による事業実施の継続性を指南をいただく。	【役割】本事業で整備する交流拠点施設や既存公共施設等を核として、官民一体で「人のましまり」を創出し、人が行き交う賑わいに満ちた三股町中心地ゾーンを目指すために策定された未来ビジョンを実現するための自立自走型のシステムを構築し、多様な主体の連携を促進しまちづくり活動の推進を行う。 【意見・改善方策】定期的な会議を開催し、町内におけるまちづくり活動を実践している団体や個人の情報交換を行いながら、主体的にまちづくりに参画する町民の人材の発掘と新たな取組みの創出に取組んでもらう。		

10. 交付対象事業の効果検証及び事業内容の見直しの方法、時期及び体制

地方公共団体名	検証時期	検証方法	外部組織による検証	
			外部組織の参画者	検証結果の公表方法
宮崎県三股町	毎年度 9 月	まち会社においてセルフモニタリングを実施し、その中でセルフモニタリング結果の分析とその結果をどのように次の事業に反映させるかについての報告会を年1回程度開催する。	外部組織の参画者：学…大学等、金…町内金融機関、言…新聞社、その他…一般町民	町のホームページにより公表する。

11. 地方版総合戦略の策定状況

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標													
	現行の地方版総合戦略			次期地方版総合戦略										
宮崎県三股町	2020	年	4 月 1 日	から	2026	年 3 月 31 日	まで	2026	年	4 月 1 日	から	2031	年 3 月 31 日	まで
	【基本目標1】しごとを元気にし、若者が安心してはたらける「みまた」をつくる 【基本目標2】行きたい、住みたい「みまた」をつくる 【基本目標3】出産・子育てしやすい「みまた」をつくる 【基本目標4】ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な「みまた」をつくる						2025年度策定予定。							

12. 地域再生計画の名称等

地方公共団体名	地域再生計画の名称	
宮崎県三股町	三股町まち・ひと・しごと創生推進交付金計画	
	地域再生計画の区域	宮崎県北諸県郡三股町の全域
	計画期間	地域再生計画の認定の日 から 2026 年 3 月 31 日 まで

	2025年度 (1年目)	2026年度 (2年目)	2027年度 (3年目)	2028年度 (4年目)	2029年度 (5年目)	合計
交付対象事業経費【①】	1,859千円	14,061千円	8,000千円	0千円	0千円	23,920千円
交付対象事業におけるソフト事業経費【②】	1,859千円	14,061千円	8,000千円	0千円	0千円	23,920千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費【③】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費比率【③/①】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

<2025年度(1年目)>

ソフト事業1年目に実施する全事業の中で、最も早い支出負担行為日(契約日、交付決定日等)

2025 年 9 月 11 日

全事業期間における本年の位置付け
 本事業では、地域密着型官民連携の方針に基づきDBO方式による拠点施設整備を行うこととしているが、施設の将来にわたる効果的かつ安定的な管理運営を展開するために、公募型プロポーザル方式により選定された事業者間における円滑な執行を図ることを目的として、町とパートナーシップ協定を締結したまちづくり合同会社(以下「まち会社」という。)に対し、プロジェクトマネジメント業務を委託するもの。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2025 年 10 月	2026 年 3 月	2025 年 6 月	補正	2025 年 6 月	補正	年 月	

交付対象事業経費 1,859千円

交付対象事業におけるソフト事業経費 要素事業数 1 計 1,859千円

1 三股町交流拠点施設プロジェクトマネジメント業務 関連するKPI ①、③
 DBO方式のメリットを高めるため、運営者の視点を設計に的確に反映させるべく、協議会を設置し、関係者の合意形成を図る。プロポーザルにおける企画提案により提出された運営事業者の提案内容を、更にブラッシュアップしながらハードに落とし込み、ソフトのクオリティを向上させることを目指す。設計事業者と運営事業者の2者では生まれ得ない価値の融合を引き起こすことをミッションとして業務委託する。
 また、協議会には有識者会議の委員をはじめとする外部人材を取り入れることにより、様々な知見を取り入れることとしている。
 委託料:1,859千円(直接人件費1,182千円、一般管理費等その他経費508千円、消費税169千円)

交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費 要素事業数 計 0千円

経費内訳変更の理由(事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載)

地方公共団体別交付対象事業経費内訳

地方公共団体名	ソフト事業経費	施設整備・事業設備・備品経費	地方公共団体計
宮崎県三股町	1,859千円		1,859千円

<2026年度(2年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

事業延長期間

全事業期間における本年の位置付け	本事業では、地域密着型官民連携の方針に基づき、施設竣工後において町民参加型による運営事業の実施を想定している。竣工後、速やかに事業が推進されるために、町内におけるプレイヤーの発掘及び町民参加型によるまちづくりの実践に向けた意識醸成を積み上げることが必要であるため継続して実施するもの。 また、施設竣工後において各種運営事業を展開するうえで、常に内容をアップデートし事業効果を向上させることを目的としてセルフモニタリングの実施が必須であるとしている。その際必要となる評価指標について、施設整備前にインタビュー調査などにより当該事業の目的達成に必要な指標の確立するために実施するもの。 また、拠点施設の整備にかかる設計業務が、前年度に継続して実施されることから、設計プロジェクトマネジメント業務を2025年度に継続して実施する。							
	事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2026年4月	2027年3月	2026年4月	当初	2026年6月	補正	年	月	

交付対象事業経費	14,061千円						
----------	----------	--	--	--	--	--	--

交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	2	計	14,061千円
-------------------	--	--	--	--	-------	---	---	----------

1	まちづくり活動推進事業及び調査分析業務	関連するKPI	①、③	7,000千円
	・まちづくり活動推進事業 委託料3,000千円(直接人件費1,500千円、一般管理費等その他経費1,227千円、消費税273千円) みまたんのミライカイギなど交流拠点の活用アイデアを出しあう場を町民参加型で開き、アイデアをもとに企画を取りまとめ、整備前の団地跡地を活用し、社会実験的に企画を実践する。その際、地域密着型官民連携の方針に基づき、地元事業者の参画機会を拡大する。歩きたくなる仕掛けづくりや、居心地の良いまち空間づくりを町民参加型で取り組むためワークショップを開催し、道路公園整備の方針に反映することを想定している。また、交流拠点整備による町民活躍の場づくりに向けた機運を高めるため、まちづくりに主体的に関わる方々との対話の場を設け、地域密着型官民連携の検討に活かすとともに、やりたいことを発表する場としてまちづくりフォーラム等を開催する。 ・効果分析調査及び評価指標作成業務 委託料4,000千円(直接人件費2,000千円、一般管理費等その他経費1,636千円、消費税364千円) 事業等の実施を通して、町民参加型によるまちづくりを実践していくうえで必要となる運営側の視点に関し、ウェルビーイングに繋がる参加型まちづくりを実践していくために、参加型まちづくり事業に関わった方々を対象としてインタビュー調査などを実施し、その結果に基づく分析調査によりロジックモデルの作成を行い、施設竣工後における運営事業に寄与する評価指標を作成する。			

2	三股町交流拠点施設プロジェクトマネジメント業務	関連するKPI	①、③	7,061千円
	DBO方式のメリットを高めるため、運営者の視点を設計に的確に反映させるべく、協議会を設置し、関係者の合意形成を図る。プロポーザルにおける企画提案により提出された運営事業者の提案内容を、更にブラッシュアップしながらハードに落とし込み、ソフトのクオリティを向上させることを目指す。設計事業者と運営事業者の2者では生まれ得ない価値の融合を引き起こすことをミッションとして業務委託する。 また、協議会には有識者会議の委員をはじめとする外部人材を取り入れることにより、様々な知見を取り入れることとしている。 委託料:7,061千円(直接人件費4,484千円、一般管理費等その他経費1,935千円、消費税642千円)			

交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費					要素事業数		計	0千円
--------------------------	--	--	--	--	-------	--	---	-----

経費内訳変更の理由(事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載)								

地方公共団体別交付対象事業経費内訳			
地方公共団体名	ソフト事業経費	施設整備・事業設備・備品経費	地方公共団体計
宮崎県三股町	14,061千円		14,061千円

<2027年度(3年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

事業延長期間

全事業期間における本年の位置付け	本事業では、地域密着型官民連携の方針に基づき、施設竣工後において町民参加型による運営事業の実施を想定している。竣工後、速やかに事業が推進されるために、町内におけるプレイヤーの発掘及び町民参加型によるまちづくりの実践に向けた意識醸成を積み上げることが必要であるため継続して実施するもの。 また、施設竣工後において各種運営事業を展開するうえで、常に内容をアップデートし事業効果を向上させることを目的としてセルフモニタリングの実施が必須であるとしている。その際必要となる評価指標について、施設整備前にインタビュー調査などにより当該事業の目的達成に必要な指標の確立するために実施するもの。								
	事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③	
2027年4月	2028年3月	2027年4月	当初	年 月		年 月			
交付対象事業経費								8,000千円	
交付対象事業におけるソフト事業経費						要素事業数	1	計	8,000千円
まちづくり活動推進事業及び調査分析業務						関連するKPI	①、③		8,000千円
・まちづくり活動推進事業 委託料3,000千円(直接人件費1,500千円、一般管理費等その他経費1,227千円、消費税273千円) みまたんVMライカイギなど交流拠点の活用アイデアを出しあう場を町民参加型で開き、アイデアをもとに企画を取りまとめ、整備前の団地跡地を活用し、社会実験的に企画を実践する。その際、地域密着型官民連携の方針に基づき、地元事業者の参画機会を拡大する。歩きたくなる仕掛けづくりや、居心地の良いまち空間づくりを町民参加型で取り組むためワークショップを開催し、道路公園整備の方針に反映することを想定している。また、交流拠点整備による町民活躍の場づくりに向けた機運を高めるため、まちづくりに主体的に関わる方々との対話の場を設け、地域密着型官民連携の検討に活かすとともに、やりたいことを発表する場としてまちづくりフォーラム等を開催する。 ・効果分析調査及び評価指標作成業務 委託料5,000千円(直接人件費2,495千円、一般管理費等その他経費2,050千円、消費税455千円) 事業等の実施を通して、町民参加型によるまちづくりを実践していくうえで必要となる運営側の視点に関し、ウェルビーイングに繋がる参加型まちづくりを実践していくために、参加型まちづくり事業に関わった方々を対象としてインタビュー調査などを実施し、その結果に基づく分析調査によりロジックモデルの作成を行い、施設竣工後における運営事業に寄与する評価指標を作成する。									
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費						要素事業数		計	0千円
経費内訳変更の理由(事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載)									

地方公共団体別交付対象事業経費内訳			
地方公共団体名	ソフト事業経費	施設整備・事業設備・備品経費	地方公共団体計
宮崎県三股町	8,000千円		8,000千円

<2028年度(4年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

事業延長期間

全事業期間における本年の位置付け									
	事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③	
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月			
交付対象事業経費								0千円	
交付対象事業におけるソフト事業経費						要素事業数		計	0千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費						要素事業数		計	0千円
経費内訳変更の理由(事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載)									

<2029年度(5年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

事業延長期間

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月	
交付対象事業経費							0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	計	0千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費					要素事業数	計	0千円
経費内訳変更の理由(事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載)							

1. 交付対象施設の概要

(1) 施設の名称及び場所

施設の名称	三股町交流拠点施設整備
施設の場所	宮崎県北諸県郡三股町大字榊山字五本松3271-2

(2-1) 施設の所有者

種類	地方公共団体	名称	三股町
出資比率	100.0%		

(2-2) 施設の整備主体

整備主体	
------	--

(2-3) 民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有主体の場合 ※該当がある場合

該当	①	民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有する施設等を地方公共団体や公共的団体等が整備する場合		
	②	民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有し、かつ整備する施設等について、地方公共団体が整備費を補助する場合		
要件	地方自治法に基づく「公の施設」として位置付けられるか			「公の施設」としての位置付け及び協定等の締結の時期 (例)●年●月頃
	「公の施設」として位置付けられない場合) 協定等の締結により中長期的・安定的な施設運営を担保されるか			
	「公の施設」として位置付けられない理由			
	協定等の内容			

2. 事業計画期間及び施設の供用開始年度

施設整備等の事業計画期間及び施設の供用開始年度	①事業計画期間(全体) ※その他の補助金等を用いて整備する部分も含めた全体期間						②事業計画期間(交付対象) ※拠点整備タイプの対象事業の実施期間						施設の供用開始年度					
	2025	年	10	月	~	2028	年	3	月	2025	年	10	月	~	2028	年	3	月
「①全体」と「②交付対象」の期間が異なる理由 ※①と②の終了時期が異なる場合のみ記載																		

3. 経費内訳

	2025年度 (1年目)	2026年度 (2年目)	2027年度 (3年目)	2028年度 (4年目)	2029年度 (5年目)	合計
交付対象事業経費【①】	17,143千円	319,524千円	1,603,333千円	0千円	0千円	1,940,000千円
交付対象事業における建築物整備経費【②】	16,039千円	290,484千円	1,396,012千円	0千円	0千円	1,702,535千円
交付対象事業における設備整備・用地造成等経費【③】	1,104千円	29,040千円	207,321千円	0千円	0千円	237,465千円
交付対象事業における備品整備経費【④】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における効果促進事業(ソフト事業)経費【⑤】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における備品整備経費比率【④/①】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体事業費	17,143千円	319,524千円	1,603,333千円	0千円	0千円	1,940,000千円
(2-3)②に該当する場合の全体事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
(2-3)②に該当する場合の交付対象事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

全事業期間における本年の位置付け 当該事業の実施に関しては、段階的に整備することとしていることから、第1段階にかかる設計業務を行う。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2025年 10月	2026年 3月	2025年 4月	当初	年 月		年 月	

交付対象事業経費	17,143千円						
----------	----------	--	--	--	--	--	--

建築物整備経費	16,039千円	設備整備・用地造成等経費	1,104千円	備品経費	0千円	効果促進事業(ソフト事業)経費	0千円
---------	----------	--------------	---------	------	-----	-----------------	-----

建築物整備の内容						要素事業数	1
----------	--	--	--	--	--	-------	---

区分	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳	
		全体	対象		
新築	【施設名称】 (1)第1段階整備分 町民交流施設(1棟目)及び屋外施設 【整備内容】 第1段階整備にかかる設計業務に要する経費 ①町民交流施設(1棟目) ・床面積500㎡以上 ②屋外施設 ・屋根付き広場1,000㎡以上 ・屋外トイレ100㎡以上	16,039	16,039	【設計業務】16,039千円 (うち、交付対象事業経費16,039千円)□ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
				関連するKPI	①、②、③
				(2-3)④に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
				全体事業費	
小計		16,039	16,039		

設備整備・用地造成等の内容						要素事業数	1
---------------	--	--	--	--	--	-------	---

区分	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳	
		全体	対象		
設備整備	【施設【施設名称】】 (1)第1段階整備分 町民交流施設(1棟目)及び屋外施設 【整備内容】 第1段階整備にかかる設計業務に要する経費 ①町民交流施設(1棟目) ・利用者駐車場、駐輪場 ②屋外施設 ・芝生広場5,000㎡以上 ・園路及び利用者駐車場、駐輪場	1,104	1,104	【設計業務】1,104千円 (うち、交付対象事業経費1,104千円)	
				関連するKPI	①、②、③
				(2-3)④に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
				全体事業費	
小計		1,104	1,104		

備品整備の内容			要素事業数
備品整備の説明	金額(千円)		経費内訳
	全体	対象	
小計	0	0	
効果促進事業(ソフト事業)の内容			要素事業数
効果促進事業(ソフト事業)の説明	金額(千円)		経費内訳
	全体	対象	
小計	0	0	
経費内訳変更の理由			

地方公共団体別交付対象事業経費内訳					
地方公共団体名	1	2	3	4	5
項目	宮崎県三股町				
交付対象事業経費(千円)	17,143千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業経費(千円) (間接補助分該当)	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
建築物整備経費	16,039千円				
うち間接補助分					
設備整備・用地造成等経費	1,104千円				
うち間接補助分					
備品経費					
うち間接補助分					
効果促進事業(ソフト事業)経費					
うち間接補助分					

<2026年度(2年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け		当該事業の実施に関しては、段階的整備のうち、第1段階整備にかかる工事監理及び施工業務、第2段階整備にかかる設計業務を行う。											
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①		予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③	
2026年4月		2027年3月		2026年4月		当初	年 月			年 月			
交付対象事業経費		319,524千円											
建築物整備経費	290,484千円	設備整備・用地造成等経費	29,040千円	備品経費	0千円	効果促進事業(ソフト事業)経費	0千円						
建築物整備の内容										要素事業数	3		
区分	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳									
		全体	対象										
新築	【施設名称】 (1) 第1段階整備分 町民交流施設(1棟目)及び屋外施設 【整備内容】 第1段階整備にかかる設計業務に要する経費 ①町民交流施設(1棟目) ・床面積500㎡以上 ②屋外施設 ・屋根付き広場1,000㎡以上 ・屋外トイレ100㎡以上	58,809	58,809	【設計業務】58,809千円 (うち、交付対象事業経費58,809千円)									
				関連するKPI		①、②、③							
				(2-3)③に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額									
				全体事業費									
				民間事業者等への補助額									
新築	【施設名称】 (1) 第1段階整備分 町民交流施設(1棟目)及び屋外施設 【整備内容】 (1) 第1段階整備分にかかる工事監理及び施工業務に要する経費 ①町民交流施設(1棟目) ・床面積500㎡以上 ②屋外施設 ・屋根付き広場1,000㎡以上 ・屋外トイレ100㎡以上	152,190	152,190	【工事監理業務】4,990千円 (うち、交付対象事業経費4,990千円) 【施工業務】147,200千円 (うち、交付対象事業経費147,200千円) 【合計】152,190千円 (うち、交付対象事業経費152,190千円)									
				関連するKPI		①、②、③							
				(2-3)③に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額									
				全体事業費									
				民間事業者等への補助額									
新築	【施設名称】 (2) 第2段階整備分 町民交流施設(2棟目) 【整備内容】 (2) 第2段階整備分にかかる設計業務に要する経費 ①町民交流施設(2棟目) ・床面積1,500㎡以上	79,485	79,485	【設計業務】79,485千円 (うち、交付対象事業経費79,485千円)									
				関連するKPI		①、②、③							
				(2-3)③に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額									
				全体事業費									
				民間事業者等への補助額									
小計		290,484	290,484										

設備整備・用地造成等の内容			要素事業数	3	
区分	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳	
		全体	対象		
設備整備	【施設名称】 (1) 第1段階整備分 町民交流施設(1棟目)及び屋外施設 【整備内容】 第1段階整備にかかる設計業務に要する経費 ①町民交流施設(1棟目) ・利用者駐車場、駐輪場 ②屋外施設 ・芝生広場5,000㎡以上 ・園路及び利用者駐車場、駐輪場	4,048	4,048	【設計業務】 4,048千円 (うち、交付対象事業経費4,048千円)	
				関連するKPI	①、②、③
				(2-3)④に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
				全体事業費	
	民間事業者等への補助額				
設備整備	【施設名称】 (1) 第1段階整備分 町民交流施設(1棟目)及び屋外施設 【整備内容】 (1) 第1段階整備分にかかる工事監理及び施工業務に要する経費 ①町民交流施設(1棟目) ・利用者駐車場、駐輪場 ②屋外施設 ・芝生広場5,000㎡以上 ・園路及び利用者駐車場、駐輪場	10,477	10,477	【工事監理業務】 344千円 (うち、交付対象事業経費344千円) 【施工業務】 10,133千円 (うち、交付対象事業経費10,133千円) 【合計】 10,477千円 (うち、交付対象事業経費10,477千円)	
				関連するKPI	①、②、③
				(2-3)④に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
				全体事業費	
	民間事業者等への補助額				
設備整備	【施設名称】 (2) 第2段階整備分 町民交流施設(2棟目) 【整備内容】 (2) 第2段階整備分にかかる設計業務に要する経費 ①町民交流施設(2棟目) ・利用者駐車場、駐輪場	14,515	14,515	【設計業務】 14,515千円 (うち、交付対象事業経費14,515千円)	
				関連するKPI	①、②、③
				(2-3)④に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
				全体事業費	
	民間事業者等への補助額				
小計		29,040	29,040		

備品整備の内容			要素事業数
備品整備の説明	金額(千円)		経費内訳
	全体	対象	
小計	0	0	
効果促進事業(ソフト事業)の内容			要素事業数
効果促進事業(ソフト事業)の説明	金額(千円)		経費内訳
	全体	対象	
小計	0	0	
経費内訳変更の理由			

地方公共団体別交付対象事業経費内訳					
地方公共団体名	1	2	3	4	5
項目	宮崎県三股町				
交付対象事業経費(千円)	319,524千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業経費(千円) (間接補助分該当)	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
建築物整備経費	290,484千円				
うち間接補助分					
設備整備・用地造成等経費	29,040千円				
うち間接補助分					
備品経費					
うち間接補助分					
効果促進事業(ソフト事業)経費					
うち間接補助分					

<2027年度(3年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け		当該事業の実施に関しては、段階的整備のうち、第2段階整備にかかる工事監理及び施工業務を行う。									
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③
2027年4月		2028年3月		2027年4月	当初	年 月			年 月		
交付対象事業経費		1,603,333千円									
建築物整備経費	1,396,012千円	設備整備・用地造成等経費		207,321千円	備品経費	0千円		効果促進事業(ソフト事業)経費		0千円	
建築物整備の内容										要素事業数	2
区分	整備内容の説明			金額(千円)		経費内訳					
				全体	対象						
新築	【施設名称】 (1) 第1段階整備分 町民交流施設(1棟目)及び屋外施設 【整備内容】 (1) 第1段階整備分にかかる工事監理及び施工業務に要する経費 ①町民交流施設(1棟目) ・床面積500㎡以上 ②屋外施設 ・屋根付き広場1,000㎡以上 ・屋外トイレ100㎡以上			418,522	418,522	【工事監理業務】 13,722千円 (うち、交付対象事業経費13,722千円) 【施工業務】 404,800千円 (うち、交付対象事業経費404,800千円) 【合計】 418,522千円 (うち、交付対象事業経費418,522千円)					
						関連するKPI		①、②、③			
						(2-3)③に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額					
						全体事業費					
		民間事業者等への補助額									
新築	【施設名称】 (2) 第2段階整備分 町民交流施設(2棟目) 【整備内容】 (2) 第2段階整備分にかかる工事監理及び施工業務に要する経費 ①町民交流施設(2棟目) ・床面積1,500㎡以上			977,490	977,490	【工事監理業務】 47,352千円 (うち、交付対象事業経費47,352千円) 【施工業務】 930,138千円 (うち、交付対象事業経費930,138千円) 【合計】 977,490千円 (うち、交付対象事業経費977,490千円)					
						関連するKPI		①、②、③			
						(2-3)③に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額					
						全体事業費					
		民間事業者等への補助額									
小計				1,396,012	1,396,012						
設備整備・用地造成等の内容										要素事業数	2
区分	整備内容の説明			金額(千円)		経費内訳					
				全体	対象						
設備整備	【施設名称】 (1) 第1段階整備分 町民交流施設(1棟目)及び屋外施設 【整備内容】 (1) 第1段階整備分にかかる工事監理及び施工業務に要する経費 ①町民交流施設(1棟目) ・利用者駐車場、駐輪場 ②屋外施設 ・芝生広場5,000㎡以上 ・園路及び利用者駐車場、駐輪場			28,811	28,811	【工事監理業務】 944千円 (うち、交付対象事業経費944千円) 【施工業務】 27,867千円 (うち、交付対象事業経費27,867千円) 【合計】 28,811千円 (うち、交付対象事業経費28,811千円)					
						関連するKPI		①、②、③			
						(2-3)③に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額					
						全体事業費					
		民間事業者等への補助額									

設備整備	【施設名称】 (2) 第2段階整備分 町民交流施設 (2棟目)	178,510	178,510	【工事監理業務】8,648千円 (うち、交付対象事業経費8,648千円) 【施工業務】169,862千円 (うち、交付対象事業経費169,862千円) 【合計】178,510千円 (うち、交付対象事業経費178,510千円)		
	【整備内容】 (2) 第2段階整備分にかかる工事監理及び施工業務 に要する経費 ①町民交流施設 (2棟目) ・利用者駐車場、駐輪場			関連するKPI	①、②、③	
				(2-3)③に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額		
				全体事業費		
	民間事業者等への補助額					
小計		207,321	207,321			
備品整備の内容				要素事業数		
備品整備の説明		金額(千円)		経費内訳		
		全体	対象			
小計		0	0			
効果促進事業(ソフト事業)の内容				要素事業数		
効果促進事業(ソフト事業)の説明		金額(千円)		経費内訳		
		全体	対象			
小計		0	0			
経費内訳変更の理由						

地方公共団体別交付対象事業経費内訳					
地方公共団体名	1	2	3	4	5
項目	宮崎県三股町				
交付対象事業経費(千円)	1,603,333千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業経費(千円) (間接補助分該当)	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
建築物整備経費	1,396,012千円				
うち間接補助分					
設備整備・用地造成等経費	207,321千円				
うち間接補助分					
備品経費					
うち間接補助分					
効果促進事業(ソフト事業)経費					
うち間接補助分					

<2028年度(4年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け												
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①		予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③
年	月	年	月	年	月		年	月		年	月	
交付対象事業経費		0千円										
建築物整備経費	0千円	設備整備・用地造成等経費		0千円	備品経費		0千円	効果促進事業(ソフト事業)経費		0千円		
建築物整備の内容										要素事業数		
区分	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳								
		全体	対象									
小計		0	0									
設備整備・用地造成等の内容										要素事業数		
区分	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳								
		全体	対象									
小計		0	0									
備品整備の内容										要素事業数		
備品整備の説明		金額(千円)		経費内訳								
		全体	対象									
小計		0	0									
効果促進事業(ソフト事業)の内容										要素事業数		
効果促進事業(ソフト事業)の説明		金額(千円)		経費内訳								
		全体	対象									
小計		0	0									
経費内訳変更の理由												

<2029年度(5年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け												
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①		予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③
年	月	年	月	年	月		年	月		年	月	
交付対象事業経費		0千円										
建築物整備経費	0千円	設備整備・用地造成等経費		0千円	備品経費		0千円	効果促進事業(ソフト事業)経費		0千円		
建築物整備の内容										要素事業数		
区分	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳								
		全体	対象									
小計		0	0									
設備整備・用地造成等の内容										要素事業数		
区分	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳								
		全体	対象									
小計		0	0									
備品整備の内容										要素事業数		
備品整備の説明		金額(千円)		経費内訳								
		全体	対象									
小計		0	0									
効果促進事業(ソフト事業)の内容										要素事業数		
効果促進事業(ソフト事業)の説明		金額(千円)		経費内訳								
		全体	対象									
小計		0	0									
経費内訳変更の理由												

実施計画の 交付対象事業の名称		第6セクターによる三股町交流拠点施設整備事業															
計画の期間 ※西暦で入力		2025	年度から	2027	年度まで	令和7年度～令和9年度	交付対象 ※入力不要	三股町			連携自治体名 ※入力不要	三股町					
全体事業費 ※入力不要		69,000			千円	交付限度額※(基礎額) ※入力不要	34,500			千円	インフラ整備事業における交付対象事業の概要 ※特にソフト事業・拠点整備事業との関連性を記載すること 本事業で整備を行う拠点施設は住宅街に道路を挟んで隣接している。この拠点施設を取り囲む町道3路線は、歩道がなく車の離合に注意を要する状況にある。拠点施設を整備するにあたり、インフラ整備事業において、拠点施設利用者はもちろん拠点施設を周遊する歩行者の安全を確保するとともに、隣接する町道3路線を、拠点施設と一体となったパブリック空間と捉え、統一的设计により滞在快適性を高める空間整備を行う。そのうえで拠点施設と一体的な活用によるソフト事業を実施することで、暮らしにおいて最も身近なパブリック空間である道路が、交通の利用に限らずまちづくりに活用可能であるという認識を広めることで、環境美化意識の高揚を図り、町民参加型による維持管理に関する取組みの発現に繋げる。						
※実施計画における交付限度額は引上額や指導監督費を含まない額																	
三股町		←団体名を選択															
年度	事業費	国費※	年度	事業費	国費※	年度	事業費	国費※	年度	事業費	国費※	年度	事業費	国費※	年度	事業費	国費※
R7年度 (1年目)	0	千円	0	千円			千円										
R8年度 (2年目)	16,000	千円	8,000	千円			千円										
R9年度 (3年目)	53,000	千円	26,500	千円			千円										
	0	千円	0	千円			千円										
	0	千円	0	千円			千円										
	0	千円	0	千円			千円										
	0	千円	0	千円			千円										
合計	69,000	千円	34,500	千円	合計	0	千円	0	千円	合計	0	千円	0	千円	合計	0	千円

インフラ整備事業における交付対象事業

⑨都市環境整備事業																	←事業分野を選択														
番号 ※自動入力	所管 省庁 ※自動入力	地域 種別 ※選択	交付 対象 ※選択	直接 間接 ※選択	事業者	事業名(事業箇所) ※各事業分野の交付要綱別表1を基本に事業名を記載すること(注)効果促進事業・関連社会資本整備事業・社会資本整備円滑化地籍整備事業の場合は必ず明記	事業内容(及び延長、面積等) ※面積等の要件がある場合は必ず記載すること	市町村名/港湾・漁港・ 地区名等	事業実施期間(年度)毎の交付対象事業費(千円)					交付対象 事業費 (千円)	交付率 ※1/3の場合 は0.333 で入力	交付限度額 ※ (千円)	前年度までに 交付された国 費 (千円)	関連する KPI	国土強靱化に 資する事業 ※選択												
									R7年度 (1年目)	R8年度 (2年目)	R9年度 (3年目)																				
⑨-1	国交省	内地	三股町	直接	三股町	都市構造再編集中支援事業(町道五本松23号線)	改良(L=155m)、道路拡幅、歩道設置、高質化	三股町	0	6,000	18,000			24,000	0.500	12,000		①、②、③													
⑨-2	国交省	内地	三股町	直接	三股町	都市構造再編集中支援事業(町道五本松24号線)	改良(L=100m)、道路拡幅、歩道設置、高質化	三股町	0	4,000	11,000			15,000	0.500	7,500		①、②、③													
⑨-3	国交省	内地	三股町	直接	三股町	都市構造再編集中支援事業(町道五本松25号線)	改良(L=190m)、道路拡幅、歩道設置、高質化	三股町	0	6,000	24,000			30,000	0.500	15,000		①、②、③													
														0		0															
														0		0															
小計(⑨都市環境整備事業)									0	16,000	53,000	0	0	69,000	-	34,500	0	-	-												

特記事項

←事業分野を選択																			
番号	所管 省庁	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業名(事業箇所)	事業内容(及び延長、面積等)	市町村名/港湾・漁港・ 地区名等	事業実施期間(年度)毎の交付対象事業費(千円)					交付対象 事業費 (千円)	交付率	交付限度額※ (千円)	前年度までに 交付された国 費 (千円)	関連する KPI	国土強靱化に 資する事業
									R7年度 (1年目)	R8年度 (2年目)	R9年度 (3年目)								
									0	0	0	0	0	0	-	0	0	-	-

特記事項